

錦地域まちづくり協議会構成団体

- | | |
|----------------|----------------|
| 錦地区連合自治会 | 錦地区老人クラブ連絡協議会 |
| 錦地区社会福祉協議会 | 錦地区自主防災会 |
| 錦体育協会 | 錦地区青少年育成会 |
| 錦地区民生委員児童委員協議会 | 錦青年会 |
| 宇都宮市立錦小学校 | 宇都宮東交通安全協会陽北支部 |
| 宇都宮市立陽北中学校 | 錦地区交通安全推進協議会 |
| 宇都宮市立錦小PTA | 御用川錦河川愛護会 |
| 宇都宮市立陽北中PTA | 錦地区女性防火クラブ |
| 錦小地域協議会 | 八坂神社神輿奉賛会 |
| 錦地区子ども育成会連絡協議会 | 錦地域リサイクル推進部会 |
| 錦防犯パトロール隊 | 宇都宮市消防団第五分団 |

戻ってきた日常 錦地区の各種事業が本格的に再開されました

新型コロナウイルス感染症が収束の気配が見え始めた昨年は、自粛を余儀なくされていた地域活動が一斉に再開する運びとなり、錦地区を代表する各種の事業が次々と展開されました。

5年ぶりの錦地区体育祭

錦体育協会 副会長 笹淵 和行



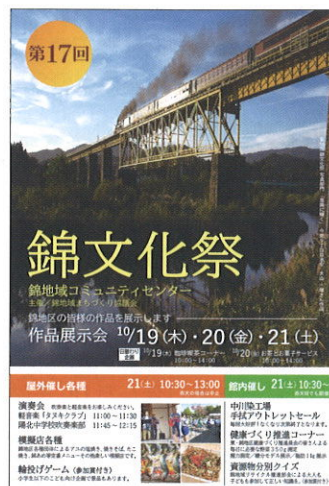
第17回錦文化祭 5年ぶりフル開催で大盛況!



令和5年10月8日(日)、待ちに待った錦地区体育祭が開催されました。思い起こせば、令和元年は水害に見舞われ、翌令和2年から令和4年に掛けては新型コロナウイルスの猛威により中止。実に5年ぶりの開催となった当日は晴天に恵まれ、佐藤宇都宮市長にお越し頂き、また、祝辞を頂き競技スタート。新型コロナが5類へ移行となりましたが、身体を密着し合う「ムカデ競争」並びに、食料品を取り扱う「パン食い競争」を中止とし、競技を絞っての進行となりました。久々の再会を喜び合う方々が今までの鬱憤を晴らすかのように、競技や応援を楽しまれています。特に子供たちはもとより、参加された方々の「笑顔」がとても印象に残った体育祭であったと感じております。今回の体育祭に関しましては、ひとえに、各種団体の皆様や準備に携わって頂いた方々のご協力によるものと、心より感謝申し上げます。

今後も体協へのより一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第17回錦文化祭は、令和5年10月19日(木)～21日(土)に作品展示会と演奏会や模擬店などの屋外催しが5年ぶりにフル開催され、大盛況を博しました。開催期間中は3日間とも晴天に恵まれ、作品展示会来場者数は過去最多の489人でした。また、21日(土)の屋外催しでは軽音楽と陽北中学校吹奏楽部の演奏会があり、会場の大勢の人が耳を傾けていました。模擬店もイスタブルが足りないほどの人気で、アユの塩焼き、焼きそば、たこ焼きなど売り切れ完売が相次ぎました。



この第17回錦文化祭に向け、錦地区各種団体から文化祭実行委員が選出され、委員会を組織し、7月から協議を重ね、準備をしてきましたが「最高の盛り上がり」という結果に各委員とも久しぶりの達成感を味わいました。文化祭開催後の報告会において出されたいくつかの反省点は、改善検討して次回に活かしていくことになりました。



錦地区体育祭順位表

1位	錦自治会	36点
2位	8丁目西自治会	32点
3位	錦西自治会	31点

※同点の場合はリレー競技の得点により順位が決定されます。



令和5年度錦地区 自主防災訓練実施報告

錦地区自主防災会 会長 菊地 敏秀



始めに日頃より当自主防災会の活動に多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。錦地区自主防災会では、いつ起こるかわからない災害に備え、その意識を再確認するため去る令和5年11月12日(日)錦中央公園において防災訓練を実施いたしました。曇り空の肌寒い日となり参加者の心配もよぎりましたが、コロナも5類移行となり緩和しつつ、なるべく消毒、マスク着用を心がけ4年ぶりの人数制限に戻し、総勢228名の参加となりました。中央消防署、消防第5分団の方々のご指導のもと、各訓練のパートに入っただき、初期消火訓練、救出訓

練、煙中体験、AEDの取り扱い学習、水防工法訓練、バケツリレー等の説明を熱心に聞きとり積極的に訓練していただき大変有意義でした。最後に第5分団の放水を行い終了致しました。6年度の防災訓練は11月10日(日)を予定しております。

今後、防災会として錦地区の避難所(陽北中)体験を希望しておりますが、連合自治会や地域の諸団体との連携をはかり地域が一体となる自主防災体制づくりが必要不可欠です。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。





錦まつり 4年ぶり開催!!

2023
11月

錦小学校PTA 会長 村山 啓介

地域の皆様には防犯パトロールをはじめ日ごろから子供たちを温かく見守っていただき誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

さて去る11月3日に錦小学校恒例の「錦まつり」を4年ぶりに開催することができました。今回は新たな錦まつりとして以前とは違う形での開催となりました。コロナ禍前には地域の皆様にバザーで大変お世話になりましたが、今回は事業委員の皆様を中心に体操着販売を行いました。サイズが小さくなって未着用になったものや、卒業する方々にご協力いただき、各種サイズ取り揃え手ごろな価格で販売し、たいへん好評でした。エコの観点からも良い取組みができたのではないかと感じております。

またボランティアの「かたりいず」による紙芝居も行われ多数の児童が楽しむことが出来ました。初めての取組みとしてスポーツ諸団体(野球、バスケットボール、サッカー、お囃子)に参加いただき子供達の体験スタンプラリーを取り入れました。実際に体験して各スポーツの楽しさを知ってもらうことやお囃子の太鼓の体験など貴重な時間を体現できました。

そして育成会による模擬店は射的や輪投げ、綿あめ等たくさんの催しで、どのブースも行列ができて子供達の笑い声が絶えませんでした。PTAは以前のピンゴから新たな形として、来場した子供達に名前を書いた抽選券を箱に入れてもらい、校長先生に抽選していただく形式で多数の景品を渡すことができたに盛り上がりました。

4年ぶりに開催した錦まつりは以前のような飲食ブースはなく、開催時間も9時から13時までと短縮した新しい形で実施しました。初めての試みもあり手探り状態のところもありましたが、子供達が楽しく、明るく、笑顔の時間を過ごすという目的は達成できたのではないかと感じております。今後もいままでの取組みに捉われることなく柔軟な発想で子供達の思い出に残る錦まつりにしていけるよう取り組んでいきたいと思っております。



令和5年度 錦地区子ども会 育成会の活動報告

2023
11月

錦地区子ども会育成会連絡協議会 会長 西 拓馬

地域の皆様には、日頃より子どもたちを温かく見守って頂き、深く感謝申し上げます。錦地区子ども会育成会では、コロナ禍で中止していた様々な活動を、今年度は再開してきました。最近では、11月に、錦小学校PTA執行部の方と協力し、小学校での錦まつりを開催しました。子ども会ごとに分担して、射的、アーチェリー、



輪投げ、スーパーボール投げ、綿あめ、クイズ大会、ドリンク販売の模擬店をそれぞれ出店して頂き、沢山の子どもたちに楽しんでもらうことができ、気持ちの良い秋晴れの下、とても賑やかな錦まつりとなりました。また12月には、冬季スポーツ大会として錦小学校にてドッチビー大会を開催しました。初冬とは思えないほど暖かい陽気の中、100名近い児

童と中学生を含む20名以上の保護者の方にもプレーに参加して頂いて、チーム対抗の白熱した大会を行うことができました。

このようなイベントを通じて、子供たちには、楽しい時間を過ごしてもらいながら、普段とは違ったチームワークや地域とのつながりを感じてもらえる機会が提供できたのではないかと考えています。今後も子どもたちの安全と健全な成長に僅かでも繋げられるように、活動して参りますので、引き続き、ご支援宜しくお願い申し上げます。



年越しそば会食会を行いました

2023
12月

錦地区社会福祉協議会 会長 野中 和夫

昨年12月15日(土曜日)、コロナウィルス感染症流行により中止していた『ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会』を4年ぶりに開催しました。その日は年末にもかかわらず風も無く穏やかで暖かい一日でした。そのためでしょうか参加者の出足もよく、準備中で忙しく動いているスタッフの邪魔をしないようにという配慮からか外のベンチで談話している人たちも居りました。



会食会は高齢者参加人数25名に地域のお手伝い者も含めて47名という賑わいの中、錦社協会長と連合自治会長増田様の挨拶の後、スキンケアメーカーによる手指の潤いを保つクリームの塗り方を、サンプルを使用して実践練習してみました。そして、福祉協力員6名が前日から仕込みを始め、当日はそばを茹で、天ぷらを添えてみかんも付けてみんなで食しました。4年ぶりの、参加者同士が顔を見ながらの食事は献立以上の美味しさが加わり、和気あいあいとした雰囲気にも包まれていました。

食事の後は山本耳鼻咽喉科院長先生による上から読んで下から読んで同じ言葉になる文章『回文』を読み解くなど頭脳を使った一口話で和やかな時間を過ごしていただきました。

令和6年度も福祉協力員のみなさんがいろいろな献立を考えて会食会を開催する予定ですのでふるってご参加ください。

「歩け歩け大会」が実施されました

2024
2月

令和6年2月4日(日)に実施された「歩け歩け大会」(錦体協/錦地域まちづくり協議会共催)には地域から49名の参加があり、長岡町方面8.5Kmコース(20名参加)と宇都宮美術館方面13Kmコース(29名参加)の2コースに分かれ、朝9:00に錦コミセンを元気に出発しました。ほぼ昨年とおりのコースに沿って全員完歩した後は温かいうどんがふるまわれました。



錦地域まちづくり交流会 2024 4年ぶりに開催

令和6年2月10日(土)ホテルニューイタヤに於いて「錦地域まちづくり交流会2024」が開催され、錦地区の各種団体から約70人の代表者の方々の出席があり、4年ぶりに地域の交流と親睦を深めました。



56年間、お世話になりました

2024
3月

錦防犯パトロール隊 代表 大山 一雄

町内の白沢街道と旧奥州街道の交差点にある今泉交番が、今年の3月で移転することになりました。白沢街道が拡幅され、東北新幹線が開通しても、いつも町内の一画で地域の安全安心を見守り続けてくれました。その歴史は古く、最初、明治32年4月25日に宇都宮警察署博労町巡査派出所として地域内に開所し、その後昭和43年1月20日に現在の場所へ移転、宇都宮警察署今泉町警察官派出所として現在に至りました。その間所轄が宇都宮東警察署になっています。

地域の防犯パトロール隊も、平成17年(2005年)12月に発足してから今日まで、側面より支えていただけてきました。そのような環境があつてか、市内でも比較的事件事故等の発生の少ない、住みやすい地域と評価をされています。発足から20年目に入ってもなお、毎月の防犯パトロールに参加される延べ人数が約100名という結果には、地域の方々の防犯意識の高さが伺えます。

今年の4月よりは、現在の豊郷南小学校前に移転になる交番ではありますが、引き続きこれからも錦地域の安全安心の為に活動されることを願っています。

私達錦防犯パトロール隊も、これまで通り普段通りの活動を続けていこうと思っております。

(今泉町交番だよりから抜粋)

令和5年度末に今泉交番、下川候駐在所、關堀駐在所が統合され、豊郷小学校東側付近に交番が新設されます。交番・駐在所を統合することにより、施設の利便性が向上するとともに地域の実態に即した警察活動を推進することができます。



地域の安全安心のために昼も夜も見守っていただいた今泉交番。

日々生かされていることの幸せ

錦地区民生委員児童委員協議会 間々田 薫

寒さも厳しい今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今日も、朝、目が覚めて「目が覚めて幸せだ。」と思う人は少ないと思います。私も、目が覚めて起き上がることは当たり前のように感じてしまいます。しかし、世の中には、目が覚めても起き上がれない人、中には目が覚めない人もおられるということをおもうとやはりありがたいことだと感じます。ひっくり返せば、健康で、命があつて、幸せなのだということもいえると思います。

ある人のお話で、「あなたは蛇口をひねれば水が出て、スイッチを押せば明かりがついて、トイレに入ればシャワートイレでそれでも文句を言うのですか?」という一節がありました。普段、何気なく暮らしていく中でも、改めて問われると、とてもありがたいことなんだと私は思いました。何気ない一日でも、当たり前のことはほとんどなく、こうやって日々暮らしていけることに感謝できるようにしたいと思います。



ボランティアの皆様を支えられて

錦小学校 校長 大森 信二



新型コロナウイルスの位置づけが「5類感染症」になったことを受け、様々な学校行事や地域の催し物がコロナ前に戻りつつあります。運動会などの学校全体で行う行事はもちろんのこと、学年ごとに行う自然体験や社会体験活動などの行事が、保護者や地域の方々のご理解とご協力により、安全・安心に実施でき、当初の目的を十分に果たすことができましたことに、改めて感謝申し上げます。

例えば、2学年生活科の校外学習「町探検」では、「見守りボランティア」、錦中央公園や錦西児童公園の清掃活動では、「地域清掃ボランティア」の皆様のご協力が助けられました。また、「かたりいず」の皆様による定期的な読み語りやPTA学級委員会の皆さまによる図書室の補修や図書室の環境整備などは、本校の読書活動推進の礎であり、「ガーデニングお助け隊」の皆様による花壇の整備や「掲示ボランティア」の皆様による校内掲示等、校舎内外の環境整備は、情操教育の要でもあります。他にも「ミシンボランティア」「児童作品整理ボランティア」「児童館ボランティア」の皆様が、児童や教職員、さらには学校を支える原動力となっています。

今後も、保護者や地域の皆様のご協力や参画を得ながら、地域全体で子供たちの学びや成長を支えてまいりたいと思っております。引き続き、本校の学校教育に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

大谷翔平選手のグローブが届きました

本校にも、大谷翔平選手が寄贈してくださったサイン入りのグローブが3つ(右・右・左用)届きました。錦小でも活用させていただきます。「大谷選手!ありがとう」



学校関係者各位 貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子どもたちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。この3つのグローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校のますますの発展をお祈り申し上げます。野球しようぜ。 大谷 翔平

『大谷選手からのメッセージ…原文のまま』



陽北中 コロナ・リカバリーへの道

陽北中学校 校長 後藤 知行

学校生活がようやく日常に戻ってきました。もちろん、まだまだ感染予防は必要ですが、運動や合唱、部活動に励む生徒たちの声が、活気に満ちた学校生活を彩るようになりました。

陽北中の教職員から募集した令和5年度重大ニュースでは、「部活動の活躍(卓球、バレーボール、陸上競技において全国大会出場)」や「文化祭・合唱コンクールでの熱唱」、「給食室へのエアコン導入」などがランクインをしていました。実際に生徒の活動を振り返ると、2学年を中心として地域の方々や学区内の学校との交流活動が再開され、人との関わりを通して学ぶ機会を持つことができるようになりました。また、部活動の大会やコンクール等においても、選手だけでなく必死に応援する仲間とともに取り組む姿が戻ってきました。応援が大きなエネルギーとなっていました。

11月にはようやく授業参観やオープンスクールを開催することができ、学校や生徒の様子を見てもらうことができました。地域とともにある学校を目指すためには、実際に学校の様子を見てもらうことが一番です。今後は、より生徒の顔が見える学校となるよう工夫してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



錦地域リサイクル推進部会 活動報告

錦地域リサイクル推進部会 会長 池澤 秀典

錦地域の皆様におかれましては、いつもご協力をいただきありがとうございます。令和5年度の活動をご報告いたします。

- ①環境美化活動事業/カラスネットの配付を7月に行いました。
- ②ゴミステーション巡回事業/今回は、今泉町5丁目自治会内を巡回しました。特に問題はありませんでした。
- ③地域活性化事業/錦文化祭において、かんたんなクイズ及びアンケートを実施し、天気もよく、コロナ禍の為5年ぶりの開催にもかかわらず、大勢の方に御協力いただきありがとうございました。文化祭自体も非常に盛り上がりました。
- ④不法投棄パトロール事業/11月10日に予定していましたが、雨天のため中止しました。
- ⑤研修事業/令和6年2月17日(土)に宇都宮市ゴミ減量課職員の方を講師に、約1時間のゴミ分別講習会を実施しました。

また、令和5年度宇都宮市清掃事業協力者として八坂自治会の菅谷博さん、錦自治会の斉藤房子さん2名の方が感謝状を贈呈されましたのでご報告いたします。



自治会長大会が 開催されました

錦地区連合自治会 会長 増田 良二

令和5年11月25日宇都宮市役所大会議室において、自治会長大会が行われました。表彰式では、宇都宮市自治振興功労者として今泉町9丁目自治会長の和氣 精氏が市長より表彰されました。

大会は、表彰状授与式の後、NHKとちぎ630の気象キャスターとして活躍している気象予報士・防災士の福嶋真理子氏による「天気と防災のはなし」を演題として講話があり、温暖化による異常気象の発生や、これに伴う様々な災害の発生などについて話されました。自治会としても、日頃から気象の変化に注意し、自主防災会など関係機関との緊密な連携を図りながら、地域の安心・安全を守るべく防災活動に取り組むべきとの認識を新たにしました。

表彰おめでとうございます!

錦地区から3名の方が宇都宮市長より表彰されました。

宇都宮市自治振興功労者として

和氣 精氏 (今泉町9丁目自治会長)

宇都宮市清掃事業協力者として

菅谷 博氏 (八坂自治会リサイクル推進員)

宇都宮市清掃事業協力者として

斉藤 房子氏 (錦自治会リサイクル推進員)



「共助」の精神を忘れずに

八坂西自治会 会長 中沢 仁一

令和5年度の事業計画に掲げた活動もほぼ終盤に差し掛かりました。これまでに取り組んできた事業の概要について振り返ってみたいと思います。

「安心安全なまちづくりの推進」については、防犯パトロールの継続・自主防災活動への参加・御用川緑地清掃・地域環境点検活動への参加等々に取り組んできました。

「会員相互の親睦がはかれる事業の推進」としては、八坂神社夏大祭では突風による自治会会所(テント)倒壊というハプニングがあったものの期間中無事に会所運営ができました。4年ぶりの開催となった錦地区体育祭では、53名の自治会・育成会の皆さんが参加され全種目出場が叶い、総合5位の結果で大いに盛り上がりました。お年寄りや子供会へ種々の支援活動にも取り組み、地域の絆をより深めることができたものと思っています。

折しも新年早々に起きた能登半島大地震による大惨事は、私たちの地域においてもいつ発生するかもしれない災害です。不測の事態に直面した時こそ「会員相互のコミュニケーションがはかれ、相互に支え合える関係づくり」がいかに大切なことか思い知らされました。これからも「共助」の精神を忘れず住みよいまちづくりにみんなで取り組んでいきたいと思うばかりです。

